

エネルギー自立地域づくり 支援体制構築事業

島根県大田市
E-mail:office@empower-shimane.org

はじめる助成

1年目

知識の提供・普及啓発



地域住民にエネルギー調査結果を報告した

家庭のエネルギー消費量調査 **142世帯**

エネルギー事業化に向けた勉強会 **4回**

今年度計画の達成度 **80%**

活動の全体目標に対する達成度 **80%**

課題

地域の脱炭素化に向けて自然エネルギー事業を増やしていく必要がある。特に中山間地域の課題を同時に解決することにつながる(地域再生)、地域主体の事業化が必要である。

目標

地域主体による自然エネルギー事業への取組みが始まることを目指す。事業化を検討する際に必要な地域のエネルギーデータを整備し、地域をサポートする体制を構築する。

活動内容と成果

●主に中山間地域の家庭のエネルギー消費実態についての調査を行い、利用しているエネルギーの種類や量、用途、そのコストがいくらぐらいか、どのような地域特性があるのかなどの分析をした。(4地域、約140世帯) ●小水力

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

エネルギー消費調査に対する行政からの協力が得にくい地域があった。

■ 工夫した点

エネルギー消費調査にあたり、住民向け説明会を開催し、趣旨説明などを行って協力を求めたところ、回答率が高くなった。

発電事業の候補地点を探す簡易調査を実施し、候補地点を選定した。(2地域) ●分析や調査結果をもとに、地域住民と報告会や勉強会を開催し、事業化について意見交換した。●事業化の本格的な検討開始の前に、もう少し継続して勉強会を重ね、自然エネルギー事業についての理解を深めていくことになった。



小水力発電の候補地点を探す

今後の展望

小水力発電事業のための勉強会や調査を継続し、事業化を目指す。エネルギー調査で、暖房や車の対策が重要なことが確認できた。個人の移動手段を脱炭素化しながら確保することを検討していく。